

## 平成 29 年度(2017 年度)土壌医検定試験等の案内

一般財団法人 日本土壌協会

平成 24 年度から土づくりの人材育成を目的として行っている土壌医検定試験は、毎年約 3,000 名の受験者があり、合格者の中で資格登録されている方も 3,200 名を越すまでになっております。このように、土づくりへの関心が高まってきております。

平成 29 年度の土壌医検定試験の実施概要をご案内いたします。  
本年度は一層、受験生が受験しやすいよう準会場の設定の充実を図ることによりしております。

### ・土壌医検定試験の実施内容

(1) 試験実施日：平成 30 年 2 月 4 日(日)

### (2) 試験会場

1) 試験会場は下記の会場での実施を予定しています。

| 試験会場                           |
|--------------------------------|
| 札幌、仙台、東京、福井、名古屋、大阪、岡山、福岡、沖縄、長野 |

注：長野会場では 1 級試験は実施いたしません。

(詳細は 9 月中旬頃ホームページでお知らせします。)

2) 農業系高校、農業大学校、専門学校、短期大学、大学等の準会場設定について  
当協会では受験生が受験しやすいよう、今年度は、生徒・学生が在学中の学校等を試験会場とする準試験会場をより一層充実させていきたいと考えております。準会場指定のご希望がある場合には、平成 29 年 10 月末までに土壌医検定試験事務局へご相談下さい。

(学校を準会場とする場合の要件)

|      | 内 容   |
|------|---|
| 対 象  | 農業系高校、農業大学校、専門学校、短期大学、大学                      |
| 受験者数 | 概ね 15 名以上(2 級及び 3 級の合計、教職員も含む。同一都道府県の隣接校生も含む) |

### (3) 受験区分・試験内容等

検定試験は単に土壌に関する知識のみではなく、土づくりと作物の生育・収量・品質との関係を重視した出題とします。受験区分と試験内容等はおおよそ以下の通りです。

| 区 分  | 1 級                     | 2 級  | 3 級  |
|------|-------------------------|------|------|
| 試験方法 | 学科試験 + 記述試験<br>+ 業績レポート | 学科試験 | 学科試験 |
| 受験資格 | 土づくり指導又は<br>就農実績 5 年以上  | 問わない | 問わない |

|             |   |  |  |
|-------------|---|--|--|
| 出題範囲        | 3級、2級レベルの知識に加え、作物生育との関係での土壌診断と対策の指導ができる知識と実績(土壌化学性、物理性、生物性の改善対策、生理障害・土壌病害の診断と対策等) | 3級レベルの知識に加え、施肥改善の処方箋が作成できる知識(土壌の化学性、物理性、生物性と作物生育、施肥改善対策、作物の施肥特性と施肥管理、作物生理障害・土壌病害の診断、土壌診断結果に基づく施肥設計等) | 土づくりと作物生育との関係の基礎知識(土壌の特性と施肥管理、土壌診断項目の見方、土壌診断の進め方、主要作物の施肥特性、肥料、堆肥、土壌改良資材の特色と使い方等) |
| 学科試験<br>問題数 | ◆マークシート方式<br>4者択一50問(50点)   | 60問  | 50問  |
| 回答方式        | ◆記述式問題 (25点)<br>◆業績レポート* (25点)  | マークシート方式<br>4者択一   | マークシート方式<br>3者択一   |
| 時 間         | 70分   | 60分  | 60分  |
| 合格目標        | 100点中70点以上  | 60問中40問以上正解  | 50問中30問以上正解  |

\*業績レポートは 土づくり指導、土づくりに関する調査研究、土づくりの実践のいずれか該当する項目について予め作物の生育改善やコスト低減につながった土づくり業績(参考資料、写真があれば添付)をとりまとめ、試験当日試験監督官に提出(細部は受験案内発表の際に協会ホームページで公表)

#### (4) 検定試験資格区分と知識・技術レベル

試験合格後、当協会に登録していただくことにより「土壌医」等の資格の名称が使えます。資格登録と資格試験合格等との関係は以下の通りです。

| 資 格            | 検定試験    | 知識・技術レベル   |
|----------------|---------|--|
| 土壌医            | 土壌医検定1級 | 土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し土づくりに取り組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。 |
| 土づくり<br>マスター   | 土壌医検定2級 | 土づくりに関し、やや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。  |
| 土づくり<br>アドバイザー | 土壌医検定3級 | 土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。  |

なお、資格登録者には継続研鑽が必要とされており、継続研鑽等の組織として現在、地域土壤医の会や企業体主体の土壤医の会が合わせて 15 組織結成されています。今後、一層、研鑽機会の拡大や人的交流を促進するなどのため、本年 3 月に「土壤医の会全国協議会」が発足しました。

( 5 ) 申込み期間と合格発表

詳細は 9 月中旬頃ホームページでお知らせします。

( 6 ) 受験料及び土壤医資格登録料

受験料

1 級 10,000 円 (消費税込)

2 級 6,000 円 (消費税込)

3 級 5,000 円 (消費税込)

(高校生以下の団体受験(10 名以上)の場合は 3,000 円(消費税込))

資格登録料 1 級、2 級、3 級とも 6,000 円(消費税込)

( 7 ) 出題範囲

原則として受験される試験区分ごとの参考書から出題されます。( 項の参考書を参照ください。)

・ 研修会日程と会場

土壤医検定試験の受験を目的とした研修会とともに、資格登録者を中心とした継続研鑽のための研修会を行います。また、まとまった受講者が予定され研修会開催の要請があった場合には出前研修も検討します。

受験対応と資格登録者の研修会の内容については、基本的に各会場での開催の 1 ヶ月前までに協会ホームページでご案内します。

( 1 ) 主として受験を目的とした研修会

1) 主として 1 級検定試験レベルの研修会

研修会では 1 級の参考書のポイントやこれまでの出題傾向、昨年度の問題の解説を内容とする研修テキストを配布して行います。

会場は東京です。

2) 主として 2 級、3 級検定試験レベルの研修会

研修会では 2 級及び 3 級の参考書のポイントやこれまでの出題傾向、昨年度の問題の解説を内容とする研修テキストを配布して行います。

会場は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡です。

但し、各会場とも受講者が定員になり次第締め切ります。また、受講希望者が 20 名に達しない場合は開催しない場合があります。(その場合は事前にご連絡します。)

( 2 ) 資格登録者を主体とした研修会

資格登録(土壤医、土づくりマスター、土づくりアドバイザー)された方を中心に継続研鑽を兼ねた実践的な研修会を行います。また、未登録者も参加出来ます。開催場所、時期等については検討中です。

| 区 分          | 会 場                 | 主 な 内 容                      |
|--------------|---------------------|------------------------------|
| 初級・中級資格者等研修会 | 関東、関西他<br>( 検 討 中 ) | ◆土壌の化学性、物理性、生物性の調査・分析と診断の進め方 |

|              |    |   |
|--------------|----|---|
|              |    | ◆作物の栽培特性と土壌物理性診断<br>◆主な土壌病害、センチュウ害の特徴と対策<br>◆土壌サンプリング法と簡易分析（pH、EC）<br>実習並びに分析結果の診断<br>◆土壌化学性診断の事例研究(グループ討議) |
| 中級・上級資格者等研修会 | 東京 | ◆現地での重要課題に関する基調講演<br>◆作物生育改善の調査・指導成果(土壌医からの発表)<br>◆土壌の総合的診断事例研究(グループ討議)                                     |

注1：会場、日時等は別途ホームページでお知らせします。

注2：中級・上級資格者等研修会のテーマも別途ホームページでお知らせします。

### (3) 出前研修

まとまった受講者が見込まれる場合には、要請により出前研修を検討いたします。開催時期は、基本的に9月～11月を予定しています。早めにご連絡ください。

### 参考書

土壌医検定試験の教材として1級用、2級用と3級用の参考書を刊行しています。

また、1～3級参考書の各章の要点となるポイントと出題傾向、過去問題の解説を内容とする既出問題集を刊行しています。

なお、3級参考書は一部の農業高校及び農業大学校で副読本としても活用されています。

本年度は2級参考書が刊行されてから5年を経過し、内容的に見直すべきところが出てきていますので、本年10月を目途に新2級参考書を刊行します。本年度の受験に限り旧2級参考書を購入している方が不利にならないよう出題範囲を考慮するなど配慮します。

#### (2級参考書の主な改訂内容)

- ◆「土壌生物性診断」については、遺伝子診断が一部実用化されているなど最近の技術の進歩を反映させます。
- ◆「主要作物の生育特性と施肥管理」については、作物の種類を増やすとともに、従来化学性が主体であったものを、物理性、生物性の視点を盛り込んだものとします。
- ◆土壌診断の進め方も従来、化学性が主体であったものを、物理性、生物性も重視したものとします。
- ◆3級参考書と重複している項目で3級参考書に委ねるべきところを削除するとともに、出題範囲となっていない「土壌診断に基づく営農改善の事例研究」を削除します。

参考書の購入申込みと定価は以下の通りです。

土壤医検定のホームページ(<http://doiken.or.jp/>)から参考書申込書に必要事項を記載して申し込みフォーム送信又はファックスでお申し込み下さい。

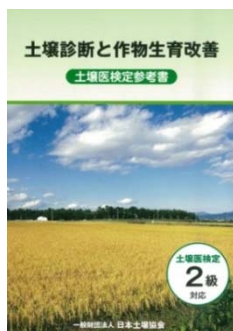
定価(1冊当り)



定価：4,645 円

定価はすべて消費税込

【送料無料】



定価：3,780 円



定価：1,944 円



定価：1,998 円

#### ・ 後援等について

平成29年度の土壤医検定試験の主催、後援は下記の通りです。本年度は全国農業大学校協議会が後援団体に加わっていただきました。

主催：一般財団法人 日本土壤協会

後援：全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、全国農業大

学校協議会、全国農業高等学校長協会、日本園芸農業協同組合連合会、日本生活協同組合連合会、一般社団法人全国肥料商連合会、全国エコファーマーネットワーク、全国土壤改良資材協議会